



グリーンクラブだより vol.7



グリーンクラブのみなさん、いかがお過ごしでしょうか。いつも街なかの花壇できれいなお花を育ててくださりましてありがとうございます。

24 節気では、7月 7 日頃からは小暑（しょうしょ）といえます。梅雨明けが近く、本格的な暑さがはじまる頃です。蓮の花が咲き、せみの合唱もはじまります。体調管理に気をつけて、こまめに水分をとるようにし、熱中症に注意して作業をしましょう。

●雨にも負けず草花管理●

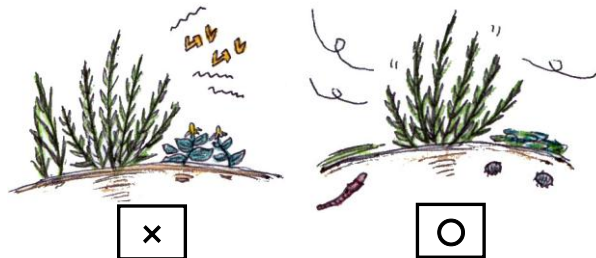


雨について：適度な雨は、植物にとってはめぐみの雨です。しかし、最近増えている集中豪雨のような強く降る雨は、植物の花や葉を痛めたり、はねた泥が病気の原因になったりします。

マルチングをしましょう

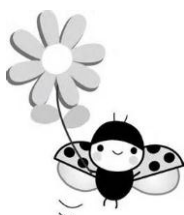
→マルチングの方法は簡単です。まず花壇に生えてきた雑草を取り、風通しをよくしてあげましょう。取った雑草は花壇に敷きつめます。雑草を使うことに抵抗がある方は、ホームセンター等で購入できる敷きわらでも代用できます。マルチングは泥はねを防ぐだけでなく、植物の根を守る、雑草が生えにくくなる、土の乾燥を防ぐなどメリットが沢山あります。ぜひ試してみてくださいはいかがでしょうか。

蒸れについて：梅雨の間は高温多湿な環境が続くため、病害虫が発生しやすくなります。特に風通しの悪い場所では株の内部が蒸れて病気になってしまいます。



切り戻しで守ろう

→成長しすぎた苗は、花や葉を間引いて株の中に風を取り入れることが大切です。また、ほとんどの草花は、猛暑の時期（8月頃）には弱りがちです。そんな時期にたくさんの花を咲かせてもかえって株が弱ってしまいます。花芽（花が咲く前のつぼみのこと）がついていてもあえて切り戻すことで、株への負担を減らすことができ、秋に元気な新芽を伸ばして良い花を咲かせてくれるようになります。



ご意見・お問合せはお気軽にどうぞ

目黒区みどりと公園課利用係

Tel: 03 - 5722 - 9242 Fax: 03 - 3792 - 2112

Email: midori06@city.meguro.tokyo.jp

